

事業名 CD	0103010209	みんなで支える地域福祉推進事業	
細分化した事業名		おむつ給付	
事業担当課室 CD	200300	福祉課	整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	中項目	地域の絆を深める福祉社会の実現	
	小項目	高齢者福祉の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市おむつ給付事業実施要綱
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	寝たきり老人、介護を要する認知症老人等におむつを給付することにより、日常生活の便宜と利用者負担の軽減を図る。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	①要介護3以上で常時おむつを要する方 ②失禁症状のある65歳以上の高齢者で、医師におむつを必要とする「証明書」を発行してもらえる方。 ③重度身体(心身)障害者で常時おむつを要する方。
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方/手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他(<input type="checkbox"/>) 利用希望者からの申請に基づき支給条件を満たしていれば支給を決定。 毎月中旬までに業者より配達。 前月分を業者からの請求に基づき確認後支払。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	在宅の寝たきり老人、介護を要する認知症老人等におむつを給付することにより、介護費用の軽減を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)	5,816	7,716	8,392	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	5,816	7,716	8,392	
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.00	0.07	0.07	
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	483	484	478	
D	総事業費(A+C) (千円)	6,299	8,200	8,870	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	277 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	年間平均利用者数	月毎の利用者数の年間合計/12ヵ月	225.6	238.7	262.4
成果指標	支給枚数	年間支給枚数 おむつ 尿取りパッド	74,105 125,030	80,040 128,640	86,174 137,460
効率指標	一人当たり事業費	総事業費/年間平均利用者数 (8,870,000円/262.4人) (円)	27,921	34,353	33,803

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 現状では所得に関係無く支給しているが、所得による支給制限を検討する必要がある。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 在宅者への支給であるが長期入院、入所者に支給されているケースがある。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 年々利用者が増加し総コストは増加しているが、一人当たりのコストは落ち着いている。今後も利用者増が見込まれるので、支給制限も検討する。	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 現在は、決められたおむつを業者が配達しているが、現金支給も含めた制度を検討。	(2) 23年度 22年度の検討結果に基づき事業実施。
	(3) 22年度 現行どおり実施するが、所得状況による支給制限について検討する。	
21年度の改善計画	長期入院・入所者を給付台帳により調査をする。	
21年度の改善結果	給付台帳の調査により長期入院・入所者への給付を中止 (対象者 5人) 在宅者のみへの給付を行う。	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)		
課長所見	年々利用者数が増加しており、今後も費用軽減のための支援が必要と思われる。	